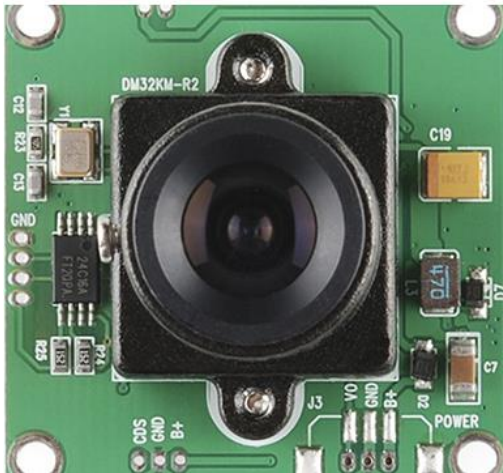


## カメラモジュールの検査



### 現行検査工程の限界

#### 低い精度

欠陥領域と正常領域の差がごくわずかであるため、目視ではその差を識別できない場合があります。そのため、マシンビジョンのアルゴリズムによる検査の精度は低いものでした。

#### 高い最適化コスト

モデルが変わるサイクルが短く、モデルによる差が大きいため、マシンビジョンのアルゴリズムを最適化するのには、コストがかかりました。

## カメラモジュール検査

### が難しい理由

#### 欠陥領域と正常領域の識別が困難

接着剤のあふれや、黒い斑点など、形や特性が正常品と似ている場合、不良品だけを選び出すのは容易ではありません。そのため、現在のマシンビジョン・アルゴリズムでは、不良検出を一定水準にするためには、継続的な最適化を行わなければなりません。





## SuaKIT の利点

### 検査精度の向上

ディープラーニング・アルゴリズムにより、これまでのマシンビジョンではできなかった高い精度の検査を実現します。

### 最適化コストの削減

まず最初の学習において、ラベル化された画像を入力します。次に、欠陥検出を自動で行なうことができ、最適化のためのコストは最小限ですみます。

### 人的資源管理の効率化

検査精度が向上すれば、自動検査が可能になります。また、何台ものマシンを一人で操作できます。